

2004. 10. 31

佐川克弘

大戸川ダムと大津市の利水について

首記の件に関する近畿地方整備局に対する私の質問に対する回答が別紙の通り届きましたのでご報告致します。

要するに私の意見書（第34回委員会参考資料1-513）の通り、大津市は大戸川ダムからすでに撤退していたことが確認されました。

以上

2004. 10. 26

佐川克弘

## 大戸川ダムと大津市の利水についての質問

早速ですが10月25日開催された第34回流域委員会資料2-3p53「ダム参画利水者の需要見直し等の状況」で“大津市は10月19日時点で、大戸川ダムに参画して0.0116m<sup>3</sup>/sの水利権を獲得することが『現在の計画』”とされています。

他方H15. 8. 2第4回利水部会検討会資料2-3-1によると大津市はH14から大戸川（自流?）において0.0116m<sup>3</sup>/sの水利権を獲得していることになっていて、しかもその水利権はダムが完成するまでの暫定水利権であるとは記載されていません。

私は後者が正しいと解釈して流域委員会当てに意見書（第34回委員会参考資料1-513「ダムと水利利用者別のチェックリスト」）を既に寄せておりますがこの解釈でよいかどうか念のためお伺い致します。

以上

平成16年10月29日

佐川 克弘 様

国土交通省 近畿地方整備局 河川部

大戸川ダムと大津市の利水についての質問（2004. 10. 26付け）に対する回答

大津市では、昭和42年に取得した0.0116 m<sup>3</sup>/s の水利権に加え、一時、暫定水利権として0.0116 m<sup>3</sup>/s も取得していましたが、平成14年以降は、暫定水利権の申請を行っておらず、平成14年以降現在までは水利権0.0116 m<sup>3</sup>/s のみとなっています。